

報告書(案)に寄せられた御意見及び御意見に対する考え方(案)

○電気通信事業者

No	意見提出者(提出順)	代表者氏名等	
1	株式会社アットアイ	代表取締役	横田 洋人
2	株式会社ケイ・オプティコム	代表取締役社長	藤野 隆雄
3	ソフトバンク BB 株式会社 ソフトバンクテレコム株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社	代表取締役社長 兼 CEO	孫 正義

○個人 1名

●報告書案全体について

提出された意見	考え方
<p>本報告書(案)に賛同します。最新の技術動向や利用者ニーズに照らした、適時適切な品質要件の見直しの方向性について賛同します。</p> <p>また、利用者保護の観点から専門的知識のない利用者でも適切なサービスや品質の違いを容易に識別できるようにし、アナログ電話と同等の品質要件を引き続き確保する考え方にも賛同します。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社ケイ・オプティコム】</p>	<p>報告書案に対する賛同意見として承ります。</p>

●「第1章 品質要件見直しに係る検討の背景」について

提出された意見	考え方
<p>050IP 電話の利用者数が減少傾向にあることについて、アナログ電話と同等の品質要件に係る規定の有無を主な要因としていますが、当該報告書案(9頁)の0AB-J IP 電話を利用する理由に関するアンケート(図6及び図7)では「通話品質」のほか「電話番号自体の信頼性」や「電話番号の地理的識別性」等といった意見も多数を占めていること、また050IP 電話の利用に際しては以前から利用していたアナログ電話等の番号を引き継ぐことができない点等も要因として考えられることについてご留意願います。</p> <p style="text-align: right;">【ソフトバンクBB株式会社】 【ソフトバンクテレコム株式会社】 【ソフトバンクモバイル株式会社】</p>	<p>報告書案9ページのとおり、利用者が0AB-J IP 電話を利用する主な理由としては、御指摘の「電話番号自体の信頼性」、「電話番号の地理的識別性」といったものにとどまらず、「通話品質がよい」、「FAXが利用できる」といった品質要件に関連する意見も多数を占めていることから、本研究会ではこれらを総合的に勘案し、品質要件の見直しの検討を行ったものです。</p>
<p>「第1章 3. 品質要件見直しに係る検討の必要性」について、強く賛同致します。この度の報告書の中で触れられておりませんが、まずはPSTNでの電話交換方式による従来のアナログ電話サービス(以下、アナログ電話)の音声品質がどの程度であるか、MOS値などユーザー評価により近い方法で検証する必要があると考えます。</p>	<p>アナログ電話の音量に係る基準として、事業用電気通信設備規則(昭和60年郵政省令第30号。以下「設備規則」という。)において、送話ラウドネス定格が15dB以下、かつ、受話ラウドネス定格が6dB以下であることと規定されております。当該基準値は端末間の通話品質がR値80相当となるよう設定されており、アナログ電話と0AB-J</p>

<p>現在、電話の中継局などが統合・廃止された地域の中には、收容局からの距離が極端に遠くなっているところがあり、アナログ電話の音声品質が著しく悪化しております。特に收容局からの距離が二十数キロという地域の方からは「音声が小さすぎて聞き取れない。」というような声も聞こえてまいります。このような現状にあるアナログ電話の音声品質が改善されないまま、0AB-J IP 電話のみ高い品質を求めている現在の基準はアンバランスであると考えます。</p> <p>今後更に 0AB-J 電話(アナログ電話及び IP 電話)サービスが利用者にとって利便性の高いもの(適切な品質、且つ出来るだけ安く)となるよう、アナログ電話と 0AB-J IP 電話、相互でバランスのとれた実用的な基準に見直す必要があると考えます。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社アットアイ】</p>	<p>IP 電話の基準の考え方は整合性が取れていると考えます。</p>
--	-------------------------------------

●「第3章 品質要件の見直しの方向性」について

提出された意見	考え方
<p>「アナログ電話用設備を介して提供される音声伝送役務と同等の安定性」を確保するために「必要な措置」を明確にし、具体的に示すことに賛同します。</p> <p>また、現状の 0AB-J IP 電話サービスの提供形態には特例措置によるものも含まれており、事実上の二重基準となっているものと認識しております。利用者保護や事業者間の公平性の確保の観点から、上記の「必要な措置」の検討に際しては、事実上の二重基準となることがないように検討いただくことを要望します。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社ケイ・オプティコム】</p>	<p>報告書案 31 ページのとおり、「安定品質要件確保のための具体的な措置の規定については、検討を速やかに行うための体制整備等を行う」こととしており、本検討に際しては、御指摘の点を考慮することが適切と考えます。</p>
<p>測定方法の共通ルール化について今年度中に一定の結論を得るとともに、当該結論に基づく測定方法について、来年度以降の測定に際して適用することが適当であるとしています。しかしながら、ルール化された測定</p>	<p>報告書案 19 ページのとおり、現在、0AB-J IP 電話サービスを提供する主要な電気通信事業者等が参画し、情報通信技術委員会 (TTC)において、事業者共通の測定方法についての検討が行われ</p>

<p>方法を適合させる為には、一般的に測定装置の準備や体制の整備等に 係る考慮が必要であると考えます。</p> <p style="text-align: center;">【ソフトバンク BB 株式会社】 【ソフトバンクテレコム株式会社】 【ソフトバンクモバイル株式会社】</p>	<p>しており、本検討に際しては、各事業者の現状の測定方法を十分に考 慮しつつ議論が進められているものと承知しています。</p>
<p>FAX の販売台数が過去 13 年間で 9 割減少していることに加え、メール や SNS 等多様な通信手段の普及により社会環境が大きく変化しているこ とを踏まえ、FAX 機能の規定義務については今後の市場ニーズ及び技術 動向を注視し、適時適切に見直しをすることが必要と考えます。</p> <p style="text-align: center;">【ソフトバンク BB 株式会社】 【ソフトバンクテレコム株式会社】 【ソフトバンクモバイル株式会社】</p>	<p>報告書案 13 ページのとおり、FAX の世帯普及率が 60%程度まで普 及していること、また、26 ページのとおり、個人・法人の利用者とも に、0AB-J IP 電話の FAX 機能を今後も利用したいという意見が多い ことから、現状の利用者のニーズを踏まえ、今後も引き続き 0AB-J IP 電話に FAX 機能を義務付けることとしたものです。</p>

●「第4章 今後の取組」について

提出された意見	考え方
<p>賛同します。「規制改革実施計画」にあるとおり「IP 電話サービス分野に おけるイノベーションや競争を通じた新ビジネスの創出を促進する観点」 からの品質要件の見直しを求められたものと理解しており、今後も柔軟な タイミングでの品質規程の見直しを要望します。</p> <p style="text-align: center;">【ソフトバンク BB 株式会社】 【ソフトバンクテレコム株式会社】 【ソフトバンクモバイル株式会社】</p>	<p>第 4 章に賛同する意見として承ります。</p>
<p>第 2 章 第 2 項において、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電 話株式会社(以下「NTT 東西」という。)の NGN では、NTT 東西以外の電気 通信事業者は、NGN 上で音声パケットの優先制御を使った 0AB-J IP 電話 サービスを提供できないという背景があることが記されています。</p>	<p>報告書案 31 ページのとおり、0AB-J IP 電話の品質要件に関して は、今後も NGN のアンバンドルの進捗状況や新たなサービスの動向 を踏まえつつ、適時適切に利用者視点に立った検討及び見直しを行 っていくことが適当であると考えます。</p>

総務省「情報通信審議会 情報通信技術分科会 IP ネットワーク設備委員会報告 ―IP 移動電話端末の技術的条件等―」(平成 24 年 9 月 27 日情報通信審議会答申)にあるように、現在暫定運用を認められている当社提案方式では、「その実施に相応のコストがかかること、今後、光ファイバへの移行が進む中でふくそう時の最終手段としていつまでもドライカッパに依存することは適切でないこと(69 頁)」から、NGN アンバンドルの必要性が明記されている。さらに先日公開された「2020 年代に向けた情報通信政策の在り方―世界最高レベルの情報通信基盤の更なる普及・発展に向けて―」答申(案)」においても、「NGN の更なるオープン化」と題し、「事業者間の協議がこれまでに調っていない状況にあり、協議を加速していくことが必要である」と今後の課題と示されています。

以上のことから、NGN のアンバンドルについては引き続き進捗状況を注視し、0AB-J IP 電話にかかわる品質要件については適時適切に検討及び見直しを行っていくことを要望します。

【ソフトバンク BB 株式会社】

【ソフトバンクテレコム株式会社】

【ソフトバンクモバイル株式会社】

●その他

提出された意見	考え方
<p>050 を利用する IP 電話において着信の不安定(ネット通信可能状態)が発生しておりますが、050 業者においては契約時に不安定が発生するゆえの契約で逃げております。そもそも電話とは確実に着信できて初めて電話として成り立ちます。着信精度の義務化をお願いします。</p> <p>また、一般携帯やインターネットの維持費が高すぎます。IT を普及の足を引っ張っている言及させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	<p>本研究会では 0AB-J IP 電話の品質要件の見直しについて検討したところですが、050 IP 電話の品質要件としては、電話が繋がらない確率(呼損率)が 0.15 以下であることと設備規則に規定されております。</p>

